

ブラームス協会 30周年記念祭

2003年 ブラームス生誕170年

音楽監督 林 峰男 監修 西原 稔

『国際派ソリストと新進演奏家の祝祭アンサンブル』

- 記念講演 / 「ブラームスの室内楽について」

ブラームス協会顧問 桐朋学園大学教授・理事 西原 稔

- ブラームス / 弦楽五重奏曲 No.1 ヘ長調 Op. 88

< JBSアガータ弦楽四重奏団 2003 >

Vn 宮本恵、友永優子 Va 藤村政芳、深沢美奈 Vc 大橋純子

- ブラームス / 弦楽六重奏曲 No.1 変口長調 Op. 18

- ブラームス / 弦楽六重奏曲 No.2 ト長調 Op. 36

1st Vn 加藤 知子 Va 深井 碩章 Vc 林 峰男

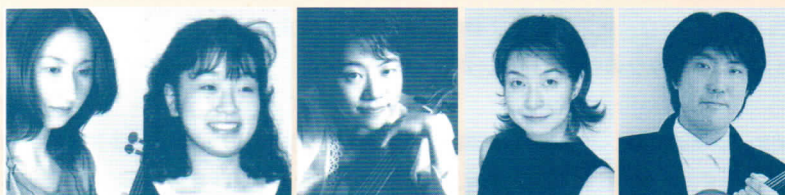
2nd Vn 山本 はづき Va 金丸 葉子 Vc 西村 志保



加藤知子



深井碩章



宮本恵

友永優子

深沢美奈

大橋純子

藤村政芳



山本はづき



金丸葉子



西村志保



西原 稔



林 峰男

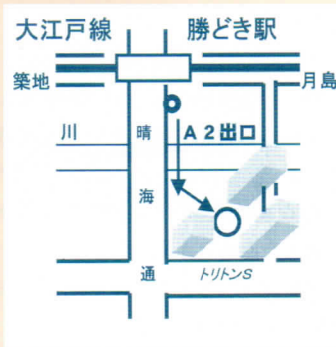
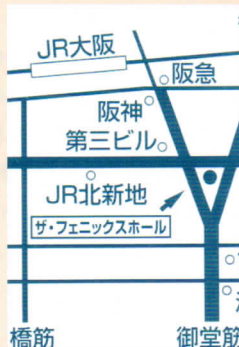
■ 12/6 (土) 1pm 開演

大阪 / ザ・フェニックスホール

■ 12/7 (日) 1pm 開演

東京 / 第一生命ホール (トリトンスイア内)

チケット 全自由 一般¥4500 学生¥3000



後援 ドイツ連邦共和国大使館、大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事館
 ハンブルク国際ブラームス協会、アメリカブラームス協会 (ABS)

チケット チケットぴあ、フェニックスホールチケットセンター、東京文化会館チケットサービス

お問合せ 日本ブラームス協会 (JBS) Tel/Fax 03-3990-0611

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>

助成 芸術文化振興基金、ロームミュージックファンデーション

参加事業 大阪公演/関西元気文化圏



● 宮本恵 (V n) 会員

東京芸術大学付属音楽高校、東京芸術大学を経て、同大学院修了。在学中に「安宅賞」受賞。第2回日本モーツァルトコンクール第2位。第57回日本音楽コンクール入選。芸大オーケストラ、名古屋フィルハーモニー交響楽団と協演。文化庁芸術家在外研修員としてロンドンに留学。現在東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師、桐朋学園短期大学嘱託演奏員。これまでに、水野佐知香、原田幸一郎、澤和樹、ジョージ・パウクの各氏に師事。

● 友永優子 (V n) ゲスト

桐朋女子高等学校、桐朋学園大学音楽部卒業。同大学研究科修了。'82年テレビ朝日「題名のない音楽会」に出演し、東京交響楽団と共演。蓼科高原音楽祭に参加し、奨励賞受賞。'94年長野アスペンミュージックフェスティバルに参加し、音楽賞受賞、奨励金を得て'95年米国コロラド州アスペン音楽祭に参加。'97年'98年サイトウキネンオーケストラに参加。これまでにガ・アイトツを上西玲子、堀正文、石井志都子、原田幸一郎氏の各氏に、室内楽を店村真積、故徳永兼一郎氏の各氏に師事。

● 藤村政芳 (V a) 特別ゲスト

'89年、東京芸術大学卒業。同年、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。96年新日本フィルを退団。現在東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者。またソロや室内楽、スタジオレコーディング等で活躍中。今までに、土方恭之、浦川宜也、ペラ・カトーナの各氏に師事。

● 深沢美奈 (V a) 会員

'94年東京芸術大学卒業。'93年第3回日本室内楽コンクール入選。'95年東京文化会館新進演奏家デビューコンサートに出演。'97年東京芸術大学大学院修了。これまでに中馬敦子、浦川宜也、河合訓子、菅沼準二の各氏に師事。

● 大橋純子 (V c) ゲスト

相愛音楽教室にてチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。米国サザン・メソディストユニバーシティより奨学金を得てアーティストディプロマ卒業。蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。東京室内楽コンクール入選。NHK・FMリサイタル、北九州音楽祭、宮崎国際室内楽音楽祭などに出演。チェロを故徳永健一郎、斎藤建寛、藤森亮一、山崎伸子、岩崎洸の各氏に師事。現在東京都交響楽団チェロ奏者。またソロ、室内楽等で活躍中。

● 山本はづき (V n) 会員

桐朋学園女子高等学校音楽科卒業。同大学ソリスト・ディプロマコースを経て1995年英国王立音楽院大学院を首席で修了。在学中、桐朋学園オーケストラとブラームスのヴァイオリン・コンチェルトを協演。第59回日本音楽コンクール第2位、松下賞受賞。'95年帰国リサイタルを開催。東京文化会館にて'97年(文化庁助成)、『02年リサイタルを開催。現在、紀尾井シンフォニエッタ東京、東京ソリスト、室内楽等で活躍中。これまでに池田敏雄、嶋田信子、故久保田良作、久保良治、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。

● 金丸葉子 (V a) 海外会員

東京都に生まれる。5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽科卒業後、ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学、ドイツ国立フライブルグ音楽大学に学ぶ。第20回プレミオ・ヴァレンティノ・ブッキ国際コンクール、第8回ブラームス国際コンクール、メンデルスゾーンコンクールのヴァイオリン部門にて優勝。フライブルグ室内管弦楽団、バーデン・バーデンフィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。東京文化会館にて、日本演奏連盟デビューリサイタル開催。ヴァイオリン・スペース、サイトウキネン・フェスティバル松本に参加。'03年にはクロンベルグ・アカデミー主催のヴァイオリンフェスティバルにおいて、今井信子、モスクワ・ソロイストとバッハのブランデンブルグ協奏曲を共演。これまでに原田幸一郎、店村真積、キム・カシュカシアン、ウォルフラム・クリストの各氏に師事。'02年より、アムステルダム音楽院にて今井信子に師事。

● 西村志保 (V c) 海外会員

13歳よりチェロを始める。'97年大阪音楽大学卒業。大阪音楽大学新人演奏会、兵庫県新人演奏会、東京読売新人演奏会に出演。スイス・ローザンヌ音楽院入学。'99年ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてチャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲」を演奏し、ヨーロッパデビュー。'00年同音楽院ヴィルトオーゾ資格修得。同年、大阪文化祭参加ソロ・デビューリサイタル開催。'98年にピアノトリオ「Itoyaka」を結成、'00年ノルウェーの第1回トロントハイム室内楽コンクールにて第3位入賞。これまでにチェロを沼田玲子、竹内良治、林峰男の各氏に、室内楽を深井碩章、F.ラパン、P.ジュネ、C.ファーヴル、G.ヴィスの各氏に師事。現在ローベルト・シューマン音楽大学にてヨハネス・ゴリツキ氏のもとで研鑽しながら、演奏活動にも励んでいる。『2003年12月23日(祝)神戸「朝日ホール」にてリサイタル開催予定』

● 加藤知子 (V n) 特別ゲスト

4歳よりヴァイオリンを始め、三瓶詠子、故久保田良作、江藤俊哉の各氏に師事。第47回日本音楽コンクール・ガ・アイトツ部門第1位、レウカディア賞受賞。翌年の海外派遣コンクールで特別賞受賞。'80年桐朋学園大学卒業。同年8月、タングルウッド音楽祭(アメリカ)に参加、メイヤー賞受賞。10月にはボストンのニュー・イングランド音楽院に入学。ヴァイオリンをドロシー・ディレーに、室内楽をローレンス・レッサーに師事。'81年9月より文化庁派遣研修員として2年間、ジュリアード音楽院に留学。'82年第7回チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞。'83年帰国。東京文化会館でデビュー・リサイタルを行う。以来国内はもとよりアメリカ、ヨーロッパ、南米、韓国、中国、モスクワなど各地でオーケストラとの協演やリサイタル・ツアーを行う。

● 深井碩章 (V a) 特別ゲスト

日本音楽コンクール第2位。桐朋学園、ジュリアード音楽院、バーゼル音楽院に学ぶ。ジュリアードではガラミアン教授、バーゼルでは巨匠シゲティに師事。現在名門、北ドイツ放送交響楽団首席ヴァイオリン奏者として活躍する。またハンブルク国立音楽大学正教授として後進の指導にあたる。ソリストとしての活動は目覚しく、テンシュテット、デュトワ、シュタイン、サヴァリッシュ、小沢征爾など世界を代表する指揮者のもと欧州各地の名門オーケストラと協演、またロストロポービッチ、アルゲリッチ、ホリガー、ニコレ等世界的演奏家と室内楽等で共演。ヨーロッパ屈指のヴァイオリン奏者の一人であり、故ヒンデミットが愛用した名器ド・ルジェリを所有。

● 林峰男 (V c) 音楽監督

東京芸大付属高校、桐朋学園を経て、スイスジュネーブ音楽院を首席で卒業。斎藤秀雄氏に師事する。ベオグラード国際チェロ・コンクールで1位。スイス・ローザンヌを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。'95年7月カザルスホールの4日連続のチェロ演奏会は高く評価されている。'95年より日本ブラームス協会の「室内楽シリーズ」の音楽監督を務める。現在ローザンヌを本拠地として各国で活躍。国内では国際スズキメソッド音楽院教授として後進の指導も務める。

● 西原 稔 顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授・理事、東京芸術大学非常勤講師。青山学院大学非常勤講師。桐朋学園大学では音楽史各論、シューマン研究、音楽美学概論の講座を担当。著書は音楽の社会史(音楽之友社)、聖なるイメージの音楽(音楽之友社)、ピアノの誕生(講談社)、<楽聖>ベートーヴェンの誕生(平凡社)、その他翻訳、監修など。現在シューマンの批評活動と各ピアノ作品の成立史を研究。その成果を音楽雑誌に連載中。2002年10月より日本ブラームス協会顧問に就任。

最近の例会より 『室内楽シリーズ』 若手演奏家支援コンサート 1995~2001 音楽監督 林峰男

- 1995. 11. 10 (金) 7pm No.108 秋例会 東京FMホール
『ブラームス没後100年にむけて(1)チェロリサイタル』 助成) ロムミュージックファンデーション
●ブラームス/ チェロ・ソナタ No. 1 ホ短調 Op. 38
●ブラームス/ 弦楽六重奏曲 No. 1 変ロ長調 Op. 18 第2楽章より (編曲)
●ブラームス/ チェロ・ソナタ No. 2 ヘ長調 Op. 99
- 1996. 10. 4 (金) 7pm No.110 秋例会 安田生命ホール
『ブラームス没後100年にむけて(2)チェロリサイタル』 協力) 日本室内楽振興財団
●ブラームス/ 交響曲 No. 3 ヘ長調 Op. 90 第3楽章より (編曲)
●ブラームス/ ピアノ三重奏曲 No. 2 ハ長調 Op. 87
●ブラームス/ クラリネット三重奏曲 イ短調 Op. 114
- 1997. 10. 11 (土) 4pm No.111 秋例会 東京文化会館(小ホール)
『ブラームス没後100年記念祭』 協力) 日本室内楽振興財団 助成) ロムミュージックファンデーション
●講演 / ブラームス像の歴史と現在 本田脩教授 (顧問 桐朋学園大学教授)
●ブラームス/ ピアノ三重奏曲 No.1 ロ長調 Op. 8
●ブラームス/ ピアノ四重奏曲 No.1 ト長調 Op. 25 《アガートSQ1997》
●ブラームス/ 弦楽六重奏曲 No. 1 変ロ長調 Op. 18
●ブラームス/ 弦楽六重奏曲 No. 2 ト長調 Op. 36
- 1998. 11. 8 (日) 4pm No.113 秋例会 津田ホール
『ブラームス協会25周年記念』 協力) 日本室内楽振興財団 助成) ロムミュージックファンデーション
●ブラームス/ 弦楽四重奏曲 No. 1 ハ短調 Op. 51-1 《アガートSQ1998》
●ブラームス/ チェロ・ソナタ No. 1 ホ短調 Op. 38
●ブラームス/ ヴィオラ・ソナタ No. 2 変ホ長調 Op. 120-2
●ブラームス/ ピアノ五重奏曲 ヘ短調 Op. 34
- 1999. 11. 3 (祝) 3pm No.115 秋例会 ムジカーザ
『大作曲家3Bをたずねて』 助成) 新日鉄文化財団
●ブラームス/ 弦楽四重奏曲 No. 2 イ短調 Op. 51-2 《アガートSQ1999》
●ベートーヴェン/ ピアノトリオ No. 7 変ロ長調 Op. 97
●J・Sバッハ / 無伴奏チェロ組曲 No. 1 ほか
- 2000. 11. 26 (日) 7:30pm No.116 秋例会 東京文化会館(小ホール)
『ブラームス協会顧問 / 本田脩 桐朋学園大学教授・追悼演奏会』
●ブラームス/ 弦楽四重奏曲 No. 3 変ロ長調 Op. 67 《アガートSQ2000》
●J・Sバッハ / マタイ受難曲 BWV244より アリア「憐れみ給え、神よ」<特別追悼曲>
●ブラームス/ クラリネット五重奏曲 口短調 Op. 115
- 2001. 11. 17 (土) 7pm No.117 秋例会 ヴォーリズホール
『シューマン&ブラームス珠玉の室内楽』
●ブラームス/ ピアノ四重奏曲 No.3 ハ短調 Op. 60
●シューマン/ ピアノ五重奏曲 Op. 44 《アガートSQ2001》



1995



1996



1997



1998



2000



2001

<出演者>

Vn 加藤知子 川瀬麻由美 佐藤まどか 杉本真弓 友永優子 宮本恵 森下幸路 山本はづき
 Va 深井碩章 深沢美奈 吉田有紀子 Vc 大橋純子 河田夏実 長谷部一郎 林詩乃 林峰男 CI 鈴木豊人 横井操
 P 伊藤恵 金井泉乃 寺嶋陸也 野田清隆 和田美弥子 Arr 大輪公彦 手島恭子 本田祐也 解説 角倉一朗 本田脩

<30周年記念祭に寄せて>

日本ブラームス協会 会長 羽木 光彦

1995年より「ブラームス没後100年記念(1997)」にむけてチェリスト林峰男氏を音楽監督にお迎えし、それまでの客演例会に加えて協会として『若手演奏家・作曲家を支援する』ことを副題とした『室内楽シリーズ』(上記)を催行して参りました。そして多くの若手演奏家が「第一線で活躍する演奏家と共にブラームスを演奏する」という「ブラームス協会の新たなそしてユニークなスタイル」の中で、貴重な経験をし、中でも協会若手会員からなる「JBSアガート弦楽四重奏団」はブラームスの珠玉の室内楽曲を連続演奏するチャンスに恵まれました。シリーズNo.10にあたる今回の「記念祭」は協会会員の理解と運営幹事の協力を得て、初めての大坂公演を含む「東西公演」として催行することで、創立以来ご協力頂いた多くの関係者の皆様に感謝の意を表すものです。ブラームス協会は研究と例会演奏会を中心に活動して参りました。研究では海外のブラームス協会との連携、演奏会では若手演奏家の支援を継続して活動する方針です。

(1) 沿革

1973年5月7日ブラームス生誕140年の日にブラームスの音楽愛好家数名の発起人と顧問の故本村信先生(音楽学)により約30名の会員で「ブラームスの会」を発足させる。その後の活動実績をもとに1979年に名称を「日本ブラームス協会」に改称して現在に至る。例会コンサートは120回また会誌「赤いはりねずみ」は30号を数える。海外ブラームス協会との情報交換も盛んで、最近では若手演奏家の支援にも力を入れている。現在会員数約100名

(2) 例会コンサート(過去30年の例会記録より抜粋)

ブラームスの室内楽曲を中心とし小ホールで客演または会員など第一線で活躍する演奏家によるコンサートを催行。

- ・1973 (No1) 弦楽四重奏曲 No.2, No.3, C1 五重奏曲 / 藤本真理弦楽四重奏団, C1 北爪利世
- ・1974 (No2) 特別講演「ブラームスの音楽をささえるもの」P トリオ No1 / 講演作曲家小倉朗, Vc 藤原真理
- ・1974 (No5) 高橋修一歌曲リサイタル / Bar 高橋修一 P 高橋高子
- ・1975 (No7) 特別講演「ブラームスと現代」C1 トリオ No2, No3 / 講演 作曲家広瀬量平 P 中井はるひ
- ・1975 (No8) シューマン「バラエーション」C1 トリオ, Vc 倉田澄子 C1 橋本光博 P 大場俊一
- ・1975 (No9) 弘中孝「リサイタル」ピアノ小品 Op.117, Op.118, ヘンデル「パリエーション」ほか P 弘中孝
- ・1976 (No10) 四重奏曲 No.1 / Vn 稲垣琢磨 va 菊田秋一, Vc 渡部宏, P 岡原慎也
- ・1976 (No14) 倉田澄子 Vc リサイタル / Vc ソナタ No.1, No.2 / Vc 倉田澄子 P 大場俊一
- ・1977 (No18) 特別講演「ブラームスの音楽語法」Vn ソナタ No.3, P ソナタ No.2 / 講演本村信, Vn 梅沢和人 P 芥木隆
- ・1978 (No28) 村谷達也合唱コンガ「トリサイタル」哀悼歌、埋葬歌、六つの四重唱曲民謡集ほか / Cod 村谷達也
- ・1978 (No32) 桐朋音楽生・P ジョイトウ「外」3つの間奏曲、A「ガエニ」E「ソ」ほか / P 岡田博美・P 三谷温
- ・1979 (No36) ブラームス混声合唱と歌曲「ブラームスエッセイ」合唱団, Sop 奥田真理子, P 森谷真理子
- ・1979 (No38) 日本ブラームス協会改称記念講演と演奏 Vn 岡田恵子・P 青木紀久子, Vc 藤原真理, P 岡本美智子
- ・1979 (No40) 杉谷昭子「リサイタル」4つのバラード、ピアノソナタ No.3, ほか / P 杉谷昭子
- ・1980 (No43) 石川静「リサイタル」Vn ソナタ No.1, No.2 ほか / Vn 石川静, P セゾフ・ハハラ
- ・1980 (No46) 岡田博美「リサイタル」第48回日本音楽コンクール優勝記念演奏会 / 主題と変奏、6つの小品ほか、
- ・1981 (No56) 弦楽六重奏曲 No.1, 2 / Vn 磯野順子, 吉川英貴, Va 生沼諒司 / 武田信夫, Vc 田内庄一, 荻田雅治
- ・1983 (No66) トラームスのオペラ P トリオ Op. 8 「初版と改訂版」 / Vn 岡田恵子 Vc 茂木新緑, P 青木紀久子
- ・1983 (No68) ブラームス生誕150年祭 第一部新進演奏家による演奏会、第二部座談会、第三部リサイタル
- ・1983 (No70) Vc ジョイント「リサイタル」Vc ソナタ No.1, No.2 と P 小品 / Vc 松波恵子, 林峰男, P 小森谷泉
- ・1984 (No75) 原田茂生「リサイタル」Bar 原田茂生, P 吉沢美智子
- ・1985 (No78) N響名誉指揮者W・サヴァリッシュ氏特別講演「ブラームスは古典主義者かロマン主義者か?」
- ・1985 (No80) 特別講演「マゲローネのロマンス」講師木戸芳子, 玉川裕子
- ・1985 (No81) 芳野靖夫「リサイタル」マゲローネのロマンス全曲 / Bar 芳野靖夫 P 大場俊一
- ・1985 (No83) 服部豊子「リサイタル」Vn ソナタ No.1, No.2, No.3 (全曲) / Vn 服部豊子, P 土屋律子
- ・1987 (No86) 田中純「リサイタル」シューマン・ブラームス歌曲ほか / Bar 田中純, P 小林光裕
- ・1987 (No88) 藤原真理 Vc リサイタル / Vc ソナタ No.2 ほか / Vc 藤原真理, P 秦はるひ
- ・1989 (No95) ゲヴァートハウスメンバースク/P トリオ遺作, C1 トリオ, P 五重奏曲 / Vn ズスケ, P 杉谷昭子
- ・1991 (No99) N響メンバー・シュース SQ / P 四重奏曲 No.2 ほか / Vn 前沢均ほか, P 本荘令子
- ・1991 (No100) 第100回記念例会 / 記念講演、歌曲・女声二重唱・P ソナタ、Vc ソナタ
- ・1992 (No101) 天満淳子 Vn リサイタル / Vn ソナタ No.1, No.2, No.3 (全曲) / Vn 天満淳子, P 平沢匡朗
- ・1993 (No103) N響メンバー・シュース SQ / 弦楽六重奏曲, C1 五重奏曲 / Vn 前沢均ほか, cl 磯部周平
- ・1994 (No105) 岡田博美「リサイタル」Hrnt リトリオほか / Vn 高田あづみ, Hrn 甲田幹雄, P 若下佐和子
- ・1994 (No106) 岡田博美「リサイタル」シューマン・ブラームス歌曲ほか / Bar 田中純, P 小林光裕
- ・1994 (No108) 岡田博美「リサイタル」シューマン・ブラームス歌曲ほか / Vn ソナタ No.2, 3つの間奏曲、ハンガリー舞曲ほか
- ・1995 (No108) 室内楽「X」1 「没後100年にむけて1」 / Vc ソナタ No.1, No.2, 編曲 (裏面詳細)
- ・1996 (No109) 会誌発表と演奏 / 講演本村信, 渡辺茂ほか / Vn ソナタ No.3, Vn 青木調, P 佐々木京子
- ・1996 (No110) 室内楽「X」2 「没後100年にむけて2」 / P トリオ No.2, C1 トリオ, 編曲 (裏面詳細)
- ・1997 (No111) 室内楽「X」3 「没後100年記念祭」 / P トリオ No.1, P 四重奏曲 No.1, 弦楽六重奏曲 (裏面詳細)
- ・1998 (No113) 室内楽「X」4 「JBS25周年記念祭」 / 弦四 No.1, Vc ソナタ No.1, P 五重奏曲 (裏面詳細)
- ・1999 (No114) 2台ピアノ「リサイタル」交響曲 No.2, ソナタ Op. 34b / P 和泉真弓, P 岡田美弥子
- ・1999 (No115) 室内楽「X」5 「3B 珠玉の室内楽」 / 「大公トリオ」 弦四 No.2, パッサペル奏組曲 (裏面詳細)
- ・2000 (No116) 室内楽「X」6 「本村信桐朋学園大学教授追悼演奏会」 / 弦四 No.3, C1 五重奏曲、追悼曲 (裏面)
- ・2001 (No117) 室内楽「X」7 「シユーマン・ブラームス珠玉の室内楽」 P 五重奏曲, P 四重奏曲 No.3 (裏面)



No.2 / 齋藤秀雄先生と小倉朗氏 No.78 / Waga Arigatou氏 No.113 / Vc 林峰男音楽監督

(3) 会誌「赤いはりねずみ」(ISSN 0913-6266)

研究論文、随想、海外情報、協会活動録などからなり、研究者から愛好家までを対象とした国内唯一のブラームスの専門誌で年一回発行している。会誌は会員および国会図書館をはじめ国内音楽大学図書館、海外ブラームス協会に送付されている。またヤマハ銀座店、横浜店、心斎橋店、神戸店、大阪サヤ書店、本郷アカデミア、神保町古賀書店でも一般販売されている。定価¥1000 また1997年没後100年の記念事業として「ブラームスの実像」を音楽之友社より出版 ¥2800

(4) 会報「Botschaft」発行

会員への通信「行事予定」「報告」「推薦コンサート」「新譜CD情報」「会員情報」などの内容でB5版

(5) 作品研究会/レクチャークンサート/CD鑑賞会

30名程度の集りで顧問またはゲストによるレクチャー&コンサート、会員をスピーカーとしてCD鑑賞会を開催する。1月の新春新人コンサート、ブラームス映画の鑑賞会などユニークな企画を開催。

(6) 夏季合宿

例会、作品研究会のほかには夏季コンサートまたは夏季CD鑑賞会が1泊2日の合宿形式で軽井沢・八ヶ岳、蓼科、伊豆などで開催される。「夜を徹しての音楽放談」が恒例となっている。

(7) 海外交流

海外のブラームス協会はドイツ、オーストリア、スイスなどブラームスが訪れた各地にあり、例外である日本とアメリカのブラームス協会も活発な活動をしている。「会誌」などの情報交換を行っている。



会誌 海外の協会発行の研究書 CD鑑賞会 会報 ブラームスの実像

(8) 入会と結団・運営

ブラームスの愛好・研究団体として「ブラームスの音楽を通して自由な意見が交わされる場」をモットーに上記の活動を行っております。入会は所定申込書を事務局に送り頂き運営幹事会で受理後、年会費を納入頂くだけで特に愛好家、音楽家などの会員区別はありません。

・組織 顧問/西原稔(桐朋学園大学教授・理事)

会長/羽木光彦 幹事/佐藤元哉、重成隆、杉田志忠、山田豊明 監査/芳賀伸子

・運営 顧問と幹事にテーマ毎に会員が加わり審議する拡大幹事会方式で行っています。

・年会費 入会金 ¥1000 郵便振替口座 00150-5-138721 日本ブラームス協会 ● 一般会員 <首都圏> ¥10000 <地方・海外> ¥5000 ● 家族会員 <首都圏> ¥12000 <地方・海外> ¥7000 ● 学生会員 <首都圏> ¥2000 <地方・海外> ¥2000 四半期毎計算